

**平成27年度（通期）
指定管理施設管理運営状況報告書**

施設担当課： 市民自治 部 環境政策 室 生活環境 課

1. 基本情報

403

施設名	伊丹市営斎場		
施設の設置目的	葬儀施設の貸与及び火葬業務		
伊丹市総合計画（第5次）における関連施策	政策目標：環境が大切にされ暮らしやすさと調和したまち 施策目標：環境適合型社会の実現 主要施策：生活環境の保全と創造		
指定管理者の名称	株式会社 五輪 (団体の住所又は所在地) 富山県富山市奥田新町1 2 - 3		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	公募	平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標 (管理運営を行う上での指定管理者の具体的目標)	指標名	火葬需要充足率 (単位: %)	
	指標の意味	年間最大火葬件数に対する年間火葬実績件数	
	今年度の目標値	87	通期の実績値
			82

2. 利用状況

利用状況等の推移		H17※	H23※	H24※	H25※	H26	H27 (上期)	H27 (通期)
	火葬件数 (大人+小人)		1,230	1,286	1,314	1,395	1,454	735
第一式場 (件数)		4	4	2	3	1	0	0
第二式場 (件数)		1	12	26	16	16	7	19

※H17、H23～H25年度は、指定管理者制度未導入。

3. 管理経費等

平成27年度 指定管理者の 収支状況 <単位:千円>	計画（通期）		実績（通期）	
	<収入の部>		<収入の部>	
	指定管理者委託料	49,505	指定管理者委託料	44,448
	火葬施設使用料金	19,586	火葬施設使用料金	18,702
	葬儀施設使用料金	201	葬儀施設使用料金	165
	合計	69,292	合計	63,315
	<支出の部>		<支出の部>	
	人件費	24,062	人件費	24,062
	事務費	1,267	事務費	1,047
	維持管理費+その他	24,176	維持管理費+その他	18,270
市への納付額	19,787	市への納付額	18,867	
合計	69,292	合計	62,246	
<収支差>		<収支差>		
収入合計-支出合計	0	収入合計-支出合計	1,069	

施設の管理運営に係る実質経費 (市の負担) ※ <単位:千円>		H23	H24	H25	H26	H27	H28
	市の収入	15,207	15,256	19,622	18,429	18,867	-
	(内、使用料収入)	15,207	15,256	19,622	18,429	18,867	-
	市の支出	57,948	51,869	49,788	61,532	48,884	-
	(内、指定管理委託料)				47,733	44,448	-
実質経費 (歳出-歳入)	42,741	36,613	30,166	43,103	30,017	-	

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

4. 業務評価

評価項目	(具体的内容)	評価結果				
		指定管理者自己評価		施設担当課評価		
		評価	特記事項	評価	担当課所見	
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的実施し、常に清潔に保たれているか。	A	委託業者の業務水準が下がらないように仕様書に準じた業務の遂行実施。修繕工事につきましては順次着工予定。	A	施設内が常に清潔に保たれている。備品についても台帳を整備し、斎場という特殊な業務を厳粛・適格に実施している。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	A			
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	A			
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B			
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	A			
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	A	職員能力向上を目的とした都度の技術研修(業務研修を含む)を実施した。10/9第2回実施	A	効果的・効率的な職員配置、人材育成、有資格者の配置を行っている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	A			
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	A			
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	A	緊急時に備えた研修を実施しマニュアルの共有化。	A	緊急時に備え積極的な取り組みを行っている。
		避難訓練を実施しているか。	A			
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	A	遺族へのアンケートの実施(5月中)対応マニュアルを作成し、共有した。	B	収骨時に苦情・トラブルが多かったが、苦情もなく、適切・迅速に業務を行っている。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組みを確立しているか。	B			
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	A			
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	A			
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	A	事業計画どおり実施している。	A	説明責任を果たし、丁寧な対応に努めている。
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	B			
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	A	個人情報を格納したUSBメモリの管理徹底。	A	死亡者の個人情報を取り扱うため、適切な情報管理を行っている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	A			
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B			
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	A	計画に準じた経理処理を適正に処理している。	B	市と協議し、適切に収支管理を行っている。
経理処理は、適切に行っているか。		A				

「評価」欄の記号の意味

「A」=協定書・仕様書等の水準を上回っている。

「C」=協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。

「B」=協定書・仕様書等の水準を満たしている。

「-」=当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	
総合評価	指定管理委託も2年がたち、接遇・対応について市内の葬儀関係者より評価が高くなってきている。
A	

「総合評価」欄の記号の意味

「A」=非常に良好である又は非常に成果があった。

「B」=取組状況の水準が普通である。

「A」=良好である又は成果があった。

「C」=改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】平成27年5月1日 ~ 平成27年5月31日

実施の有無	主な回答	主な対応
有り		
回答者数	実施したが、回答者なし	
0		

5. 改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置
無し	無し